

学校だより

2月号（巻頭言）



嶺 鶴

令和7年1月31日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

相手に届く挨拶を・・・。

大田区立東調布第三小学校
副校長 星 淳司

今年の節分は、2月2日です。

2月3日であることが多い節分の日付は、立春の影響を受けて変わることがあります。2025年の立春が、2月3日となるため、その前日の2月2日が節分となるのです。2日の日は、豆まきをしたり、恵方巻を食べたりするご家庭もあるかと思います。暦の上ではもう春になりますが、まだまだ寒い日が続きます。引き続き、お子さんの体調管理をしっかりと行い、残り少ない3学期を元気に登校できるようにお願いします。

12月に本校では、児童に学校評価アンケートを実施しました。そこで、「自分からあいさつをしている。」という質問に「している」と答えた児童は、80%でした。この結果から、本校の児童は、おおむね自分から挨拶をしていることがわかります。また、同じ月に地域や保護者の方にも学校評価アンケートを実施しました。そこで、「こどもは、自分からあいさつをしている。」という質問に「している」と答えた地域や保護者の方は、73%でした。挨拶をしている児童と挨拶を受けている地域や保護者との差に違和感を覚えます。この結果から私は、自分から挨拶をしているつもりの子どもたちですが、実は、相手に届く挨拶をしていないのではないのかと考えます。

挨拶の「挨」は「自分の心を開く」、挨拶の「拶」は「相手の心に近づく」という意味があるようです。つまり、挨拶をすることは、「自分の心を開き、相手を認め、相手の心に近づく」ということになります。挨拶は、人間関係を築いていく上で、大切なコミュニケーションの一つです。こどもたちには、挨拶の良さや意義を伝え、相手に届く挨拶のできる子の育成を目指していきます。また、場や状況に合った挨拶ができるようにもしていきたいと考えています。

各ご家庭でも、ぜひ、挨拶について話し合ってみてください。家庭と学校が連携をし、一緒になってお子さんを育てていきましょう。